

平成 27 年度第 2 回二宮町総合教育会議 議事録（会議要旨）

開催日時	平成 27 年 8 月 28 日 金曜日 13 時 30 分から 15 時 15 分まで
開催場所	二宮町役場 2 階 第一会議室
出席者	村田邦子町長、府川陽一教育長、蓮實茂夫教育委員、山内みどり教育委員、小林徳博教育委員、吉田美佳子教育委員
町部局	政策部長
事務局	教育次長、教育総務課長、教育総務班長
その他	傍聴 13 人

※会議次第および資料は、別添ファイルのとおり

会議録

（教育次長） それでは、13 時 30 分定刻となりました。ただいまから、平成 27 年度第 2 回二宮町総合教育会議を開催いたします。開会にあたりまして、まず初めに、本会議の公開、傍聴についてお諮りさせていただきます。第 1 回の会議でもご説明いたしましたが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の条文の中に、「総合教育会議は、公開する。」とあります。本日は、傍聴希望の方がいらっしゃいますことから、まず、このことについて、皆様、今回の会議について、傍聴を許可してよろしいでしょうか。

－ 許可 －

（教育次長） では、許可をいただきましたので、傍聴の方をご案内させていただきます。

－ 傍聴者が入室し、資料を配布。 －

（教育次長） 傍聴の方が全員入室されましたので、再開いたします。それでは、次第の 2、町長挨拶です。村田町長、お願いいたします。

（町長） みなさん、こんにちは。夏休みも間もなく終わります。ここ数日は涼しいですが、今年の夏は大変暑い夏でした。本日はお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。

さて、本日、第 2 回の総合教育会議を開催することになりました。ご存じのとおり、夏休み、大変痛ましい事件がありました。様々な原因や、きっかけが重なって生じた事件だと思えます。幸い二宮町では生じておりませんが、多く

の方からご意見ご提案をいただきながら、協力して子どもの見守りなどの対応を考えていきたいと思えます。本日は、前回会議で意見交換をさせていただいた大綱について、二宮町教育大綱（案）を作成いたしましたので、このお話を中心に、皆さんと意見をかわらせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

（教育次長） それでは、次第の3協議・調整事項です。ここからは、二宮町総合教育会議設置要綱の第4条に基づきまして、村田町長が議長になりますことから、会議の進行をお願いしたいと思います。

（町長）

それでは、議長として進行させていただきますので、よろしくお願ひいたします。

では、協議・調整事項の（1）大綱（案）について、ということで、事務局より説明いたします。

－ 大綱（案）について、事務局説明 －

（町長） 大綱（案）について、資料1の説明がありました。ここで私から、この大綱（案）を策定するにあたっての、思いや考え方を少し補足してお話しさせていただきます。

まず、大綱策定の趣旨は、法律的な内容を説明したものですので、この文章のとおりです。期間については、法律上の規定はありません。二宮町独自で考えることが出来ますので、総合計画と連動できるよう平成30年までとさせていただきます。開始に平成27年度を含めましたのは、本日の結果をふまえて、策定、公表し、すぐに活かしていきたいと考えていることからです。理念は、前回の会議をふまえて、とりまとめたものです。基本方針についてお話しさせていただきます。前回会議では4本柱で説明し意見をいただきました。会議をふまえて改めて考えて、大きく3つとさせていただきます。具体的には、前回会議でお話しした1つ目と2つ目を合わせました。

基本方針の1では、人権意識を高めるとともに、考える力、生きていく力を育んでいきたいと考えまして、こういう文言とさせていただきます。

内容については、まず1つ目の丸で記載しましたが、昨今の状況を受け、自他の生命を大切にすると明記させていただきました。ちょうど、先日の報道で、夏休みが終わり2学期を迎えるにあたって、学校に通う子どもたちの中に、気持ちが沈む、辛くなる子どもがいる、という話題と、それに対して、鎌倉市の図書館からの呼びかけのツイートの記事がありました。学校教育の充実は使命だと思いますが、その一方で、社会全体でこういう子どもたちを見守る、支

えていく事が必要だと感じています。そうした事からも、生命を大切にする教育と書かせていただきましたが、これは学校教育だけではない、という意味も含めて書かせていただきました。

2つ目の丸については、やはり子どもが成長していく中では、学力と体力が重要であると考えまして、一人ひとりの個性や発達段階にあわせた学力と健康や体力作りが大切だと考えて記載しました。

3つ目の丸は、前回会議の2つ目の柱として説明させていただいたものを記載しました。考え方としては、世界に羽ばたくという部分では、英語教育に力を注ぐというだけではなく、文中にもあるとおり、地球的な視野を持って主体的に行動できるよう育ててほしい、という思いから書かせていただきました。

基本方針の2については、これも前回会議でお話しした考え方は変わっておりません。1の考え方をふまえて、既にコンピュータ機器などのハードウェアの整備は進めていますが、今後は、それらをどう教育に活かしていくか、学びに活かしていくか、が大切だと思います。そういう意味では、各小中学校が、個性を持って取り組んでいただいて、それをアピールしていただくと、保護者だけでなく、地域の方にも学校を知っていただく機会になると思います。

1つ目の丸は、学校だけでなく地域に住む子ども達の安心安全を確保するためには地域の力が大切であること、一方では学校に地域の声が入っていくこと、双方向でのコミュニケーションが必要という考えで書かせていただきました。

2つ目の丸は、学校施設だけでなく教育施設について、人口減少の動向をふまえて、学校等の統廃合なのか一貫校なのか、そういう事を視野に入れつつ、様々なことを考えながら取り組んでいかねばならないと考え載せました。

最後に、基本方針の3です。これも前回会議でお話ししましたが、町民が主人公となる、ということで、生涯学習振興について掲げました。学校教育だけでなく、生涯学習、生涯スポーツというものが、活力ある地域づくりに繋がるものと考えています。

1つ目の丸は、活力ある地域コミュニティということで、現在、総合計画や総合戦略を策定していますが、その中でも、各年代、各世代の方々が地域に参加していただくことが町の活性化に繋がると考えています。このことから、その中で行政が担える部分ということで、様々な場の提供をしていく充実させていく事を掲げさせていただきました。

最後の、2つ目の丸は、生涯学習センターラディアンと図書館が、これからも二宮町の中で中心となっていくと思います。この施設を充実させ、しっかりと活用していく事が、そこで町民の皆さんに様々な事をやっていただき、そのために行政ができる事をしていくという思いから、あえて、社会教育施設の充実、と書かせていただきました。その中でもラディアンや図書館は、町内だけでなく近隣市町からも評価されている事から、特に大切にしていきたいと思っています。

このように、前回会議でお話しした内容をまとめさせていただきました。基本的には、前回お話しした事と大きく違った部分はないと思います。大綱（案）について、私の思いをお話しさせていただきました。この大綱（案）について、皆様のご意見やご質問をいただきたいと思います。よろしくをお願いします。

（蓮實委員） 4本柱が3つになりました、というお話ですが、内容としては大きく変わっていない、ということがわかりました。前回の会議でも少しお話しさせていただきましたが、国の教育振興基本計画をふまえながら二宮の実情に応じて、このような形になったと思います。前回に引き続きですが、この大綱を策定するにあたっては、国の振興計画を参酌して、という点について、もう一度確認させてください。この第2期の振興基本計画は、第1期の反省点も踏まえて、いまの振興基本計画が作られていると思いました。具体的には、第1期では縦割りに施策を整備していた事を第2次では改めたということで、4つの基本的方向性と8つの成果目標を掲げています。前回の会議でもお話しさせていただきましたが、これらも参酌して、この大綱の策定となったと思います。

また、二宮町教育基本方針では、大きく、学校教育と生涯学習の2つの分野にわかれています。この大綱では、国の振興基本計画を参酌しつつ、この3つの基本方針にちりばめて作られていると思いますが、そういう理解でよろしいですか。

（町長） はい。もちろん国の振興基本計画を参酌しながら、二宮町の現状に沿って具体化していくという形で作りました。

（小林委員） 国の振興基本計画は前提としてありますが、二宮町の教育を推進するには、連綿と築いてきた二宮町の教育を大切にしていきたいと思います。その基本には、町の総合計画、そして二宮町教育委員会基本方針があり、それらを土台にして、継続性という意味においてもこの大綱はあるべきだと思います。そうした中で、町長が先ほどお話しされたように人権尊重は欠かすことの出来ない内容だと思います。また、生きる力生き抜く力も必要です。前回の会議では、世界に羽ばたくということが大きく掲げられていましたが、この大綱では、自ら考え生きる力という中に、世界に羽ばたける力を育成していくと繋がっていくと思います。2つ目の丸の確かな学力、健やかな体力についてですが、これも大切にしていかなければならないと思います。体力については全国に比べて神奈川県が低い水準にあり取り組んでいく必要があると思います。学力についても、子ども達の自信をつけていく中で、しっかりと取り組んでいかなければなりません。そういった意味では、基本方針の中の各丸の説明で、取り組むべき内容がしっかりと網羅されていると捉えています。また、人権尊重については、学校教育だけでなく、親、地域の人権感覚が子ども達に反映されていくも

のですので非常に大切であると思います。そういう意味でも、この基本方針の1つ目は、すっきりとまとめられていると思いました。

基本方針の2については、1をしっかりと進めるためには環境づくりが必要、これは行政がしなければならない事を掲げられたと思います。大綱の基本理念がここにしっかりと結びついていると感じました。ハード面だけではなく、基本理念にあるように町民の心も環境づくりの一つとしてとらえていく、非常に大きなものと感じています。

基本方針の3についてですが、学校教育と生涯学習、区別し難い、絡みあった、町民一人ひとりの町づくりの力、地域の力を活かして町づくりを進めていくという視点でわかりやすくまとまっていると思いました。

(町長) ありがとうございます。他にもありましたお願いします。

(吉田委員) この3つの基本方針については、町長の思いが伝わってくる内容になっていると思います。特に、人権尊重の中で、一人ひとりの発達段階を取り上げられたことは、とても良いことだと思います。今、発達段階という言葉は注目されているキーワードだと思います。個性、という言葉の中で、見過ごされがちですが、子ども一人ひとりを保護者や地域、学校が見つめていく中で、その子その子に合わせて、家庭教育、学校教育、生涯学習の中で、将来の町民を育てると言いますか、地域を考え、社会を考え、地球的な視野を持てる大人を育てていくという思いが伝わりました。ところで、質問というかお尋ねしたいのですが、町の前期基本計画で、子育て子育て支援ということで学校教育や生涯学習に取り組んでいますが、町長はどのように評価されていますか。ここは出来ている、ここは今一つだったかな、そういう所をどう感じていただけるかを教えていただければと思います。というのは、この計画に限らず、色々な計画や方針が掲げられても、十分に検証せずに次が出されると、町民の視点では、あ、またか、と、軽く流されてしまうと思いますので、これから、この大綱と中期基本計画を確実に進めていく上で、前期基本計画をどのようにとらえられて感じられているかを教えてください。

(町長) 第5次総合計画の方針に沿った、それぞれの施策について、中期基本計画の策定もありますので、現在検証を進めています。その途中ではありますが、教育関係、子育て関係について、全般的には確実に進めているのではないかな、と感じています。1つ1つを取り上げると必ずしも満足とは言えないかもしれませんが、着実に進められていて、これからは、それをいかに活用するかが大切になると感じています。また、今後の計画では、前期計画では触れられていない部分もあるなという所もありますので、中期計画ではそうした点も盛り込んでいきたいと思っています。また、生涯学習については、行政がどこまで

担うか議論があると思いますが、私は行政がしっかりした下地を作る事で、その中で、子どもを含めた町民がのびのびと活動できる事を応援できるようになると良いと思います。子どもの体力については、たしかに平均は低い水準ですが、これはあくまで平均であって、中には様々な大会で優勝するような子もいると思います。これからのスポーツは、学校教育や生涯学習だけでなく、生きがいつくりや健康長寿の観点からも大切なことで、町が出来ることをしっかりとやっていこうという事を、基本方針の3の社会教育施設の充実という言葉に込めています。厳しい財政ですが、充実させていきたいと考えています。1つ1つの施策については語りつくせませんが、しっかりと中期計画に盛り込んでいきたいと思っています。他にもありましたらお願いします。

(山内委員) 全般として、わかりやすくまとまっているなと感じました。基本理念の地域の力を活かした、という部分についてですが、こうした大綱と言いますか大きな方針は、どこの地域も似たものになるかと思っています。その中で、二宮らしさが出せると魅力的なものになれば良いと思います。私が感じている二宮の良さは、町の規模が適度で、首都圏への通勤通学圏内であり、風光明媚、気候が穏やか、災害も少ない、そうした事もクローズアップできると良いなと思います。活力ある町に不可欠な子育て世代にとって、生活にも仕事にも勉強にも二宮町は良い地域だと感じています。この大綱の中で、二宮の良い所、二宮らしさがどこに出てくるのかな、という、基本理念の、まちづくりの力、地域の力だと思いました。前回会議でコミュニティスクールのお話しもさせていただきましたが、地域の力が大切になってくると思います。

これを踏まえて、基本方針の2について質問させてください。学習環境、教育環境とありますが、先ほどのお話しの中の2つ目の丸について、町長のお考えをもう少し深く教えてください。

(町長) 教育施設、その中でも特に学校の話が中心となると思いますが、これはしっかりと考えていくべきものと感じています。学校というのは既に地域の中心となっていると思います。整理、という言葉にしていますが、統廃合ありきではなく、地域の中心という役割もありますので、そうした意味では慎重に考えていかねばならないと感じています。子どものためだけの学習環境でなく、町づくりにとっての視点も踏まえて考えていかねばならないと思います。学校などの教育施設は、地区というより地域が元気にする中で大切なものだと思いますので、これから、様々な議論を始めていく必要がある、という意味で、ここにあって書かせていただきました。

(山内委員) 整理します、というダウンサイズの意味ではないのですね。

(町長) そうです。整理、という言葉は統廃合とか縮小という印象になります
が、マイナス的な意味合いではなく、地域も含めて一緒に議論し考えていく、
という意味表明の意味での記載です。

(教育長) ちょっと議論が広がっていると思いますので、まずは、大綱（案）
について確認しませんか。その次に、総合計画や戦略会議なども踏まえたお話
を町長と意見交換できればと思います。まず、その大綱についてですが、前回
議論を踏まえた内容になっていると感じています。また、国の教育振興基本計
画を参酌しながら作られていると思います。まずは、この大綱（案）について
取りまとめてはいかがですか。

(町長) いま、教育長からお話いただきましたが、全体的なイメージは共有
できたと思いますが、引き続き、意見をいただきたいと思います。お話しで出
てきた、二宮らしさですが、住んでいる方には、もうある程度共通認識を持た
れていると感じています。その中で、それを活かしてどのように予算に絡めて
進めていくかが大切だと考えています。他にもありましたらどうぞ。

(山内委員) 大綱の内容については、この資料だけでなく町長の説明ですつき
りしましたが、この後のスケジュールについて確認させてください。字句の修
正も考えられますが、次の総合教育会議は2月になりますが、大綱（案）はど
のように取りまとめられますか。

(町長) 本日いただいたご意見を踏まえて、最終的な調整を行い、町長部局の
政策会議において確認し、11月頃までには発表したいと思います。そして、
第3回の総合教育会議を待たずに今年度から動き出したいと思います。他には
ありますか。

(蓮實委員) 方針2つ目の丸2つ目、将来を見据え、とありますが、これまで
町で出されている公共施設白書では、学校施設だけで公共施設の半分、社会教
育施設も含めると7割程度になるようです。また白書の中では、学校施設の建
て替え時期も迫っていると思います。公共施設再配置の検討もあるようですし、
総合計画での記載になるかわかりませんが、町長の思いをもう少し教えてください。

(町長) 先ほども話しましたが、各施設への町民の皆さんの思いがあると思
います。その中で、行政側だけの一方的な方針でなく、財政事情は大きく関わっ
てきますが、先延ばしにせずに議論をしていきたい、地域の方、町民の皆さん
と話していきたいと考えていきたい、という思いからです。その計画は、総合

計画とは別の形で示していかなければならないと考えています。

(小林委員) 基本的にはおっしゃる通りです。一方では、老朽化のようなハード面での課題ありき、スケジュールありきの議論であってはならないと思います。コミュニティスクールといったお話もありましたが、まずは二宮町の教育のスタイルを作るために、二宮町らしい教育の在り方、学校の在り方を議論する場を作る必要があります。その中で、小中一貫教育やそれにとまなう施設の話をするべきと考えています。大綱の基本方針2の2つ目の丸はもう少し文言を加えると良いと思います。

(町長) ハードウェア面だけでなく、コミュニティ全体を含めた中で議論を深める中で、地域と学校の繋がりが深まり、二宮版コミュニティスクールではありませんが、二宮らしい学校の在り方が見えてくると考えています。

(小林委員) 現在、町では学校評議員制度がありますが、これは学校へのアドバイスを行なう組織の位置づけです。コミュニティスクール制度では、地域の意見は、大きな意味を持ってくると思います。昔の学校は、地域の中心でしたが、今は少しそれが薄れていると感じています。町長にお話しいただいた、二宮版コミュニティスクールの取り組みにより地域における学校の意味が大きくなると思います。

(山内委員) 二宮版コミュニティスクール、非常によい試みだと思います。人口減少という時代の流れの中で、人口増加のきっかけになると嬉しいですね。

(町長) 今後は、地域が学校に関わる場が増えていくと思います。今週末の30日の防災訓練への中学生など、具体的な取組が始まっています。これからの学校や地域の在り方について、地域と学校が双方向で考えていく機会がコミュニティスクールだと思います。

(吉田委員) そのような意図でしたら、今の基本方針の文言だと誤解を招くと思います。この、整理します、というと、どうしてもマイナスイメージになりがちです。将来の教育施設について考えていく、など、表現を変えると前向きなイメージになると思います。

(町長) 説明させていただければ意図は伝わるとはと思いますが、たしかに文字だけでは、そういうイメージがつくと思います。この考え方は変えることなくこのままで、ここまでのお話を踏まえて前向きな表現に変えたいと思います。他

にいかがですか。

(教育長) 大綱について、一回取りまとめてはいかがでしょう。

(町長) そうですね。ご質問、ご意見、ありがとうございました。では、先ほどからお話しさせていただいた箇所の字句の修正を少しさせていただきますが、考え方や方向性も含めて、概ねこの大綱（案）で皆さんよろしいですか。

－ 了承 －

(町長) ありがとうございます。字句の修正などをしまして、政策会議を経て、二宮町教育大綱として、11月を目途に公表したいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

では、大綱については以上とさせていただき、続いて、協議・調整事項の(2)その他はいかがですか。

(教育長) では、わたくしから意見というかいくつか提案をさせていただきます。先ほどから出ているコミュニティスクールを取り上げたいと思います。大綱において、地域の力を活かすこと、地域の役割、コミュニティ作りが大きく取り上げられています。その中で、明後日の防災訓練だけでなく、様々な面で地域に子ども達の出番を作っていく、地域と繋げていくことが必要だと思えます。

また、放課後の子ども達の時間の過ごし方についてです。地域スポーツクラブの開設、放課後子ども教室の充実について、行政として何ができるか、町民の力をどう結集するか町長部局としっかりと連携していきたいとも考えています。移動町長室などの取り組みがありますが、地域の方が集まれば、自然と教育の話題が挙がると思います。そこから地域コミュニティの話題が盛り上がって、結果として、大綱の中で掲げられた、町民が主人公となる、という基本方針、に繋がってと思います。

(小林委員) コミュニティスクールについては大変かもしれませんが、実験校を据える事など具体化、予算化を考えていく必要があると思います。その前に、私たち教育委員もしっかりと勉強していかねばならないと感じています。

そして、世界に羽ばたく人材の育成です。二宮町に誇りを持って、そこに地域の中で愛されて育ったという思いが土台となる事が世界に羽ばたく人材の育成に繋がっていくと思います。これの具体的な取組は難しいと思いました。ちょっと具体的に過ぎますが、東京オリンピックに向けて子ども達に目標というか目玉となる取組を行ない世界に関心を持ってもらうのも試みの一つだと思います。

ます。具体的な取組みや目標の設定をしていく事で、この大綱の基本方針や基本理念が生きてくると思います。

(町長) コミュニティスクールについては、制度もありますし色々な事例もありますが、二宮らしいコミュニティスクールで良いのではないかと思います。そうしたことは、これから皆さんと勉強していきたいと思います。

(吉田委員) 二宮らしさ、ということですが、学校と地域の強いつながりを感じています。一色小学校の草刈では、保護者ではない地域の方が多数参加されていますし、地域の方を指導者として招かれていますし、多くの取組みがされています。また、子ども会など様々な取組みもされています。今まで培ってきた土台を活かして、場を作っていければと思います。今話題に出た、オリンピックの関連ですが、一色小学校50周年の際に、卒業生でアテネオリンピックに出場された鈴木真理さんが来られた時に、子ども達は大変興味を持っていました。防災の担い手としての役割など、様々な形で子ども達が地域と関わっていければと良いと思います。

(町長) 今お話ししたようなことが、ある意味コミュニティスクールの一端であると思います。それぞれを少し体系づけて考えて、整理して取り組んでいき、出来たらそれを町づくりに繋げていければと考えています。他にもありましたらお願いします。

(山内委員) 大綱をふまえてですが、どうしたら、自他を尊重できる子ども達を育てることができるのか、そして大人も、より成熟した大人になることが出来るかが大切だと思います。前回会議でもアイデンティティ、という言い方をさせていただきましたが、自己肯定感の確立、あわせて他者の尊重を大切にす人物を育てていく事が大切だと思います。各学校や地域で大人たちと色々な経験をしていく中で、子ども達自身が育つチャンスを用意できると良いなと思います。

(町長) 様々な機会作り、きっかけ作りが必要だと思います。必ずしも放課後子ども教室に全員参加、というわけではなく、図書館であったり、他の施設であったり、子ども達に様々な機会、居場所を作ることが大切だと考えています。この話題については、次回以降も引き続き意見交換していきたいと思います。

さて、色々ありがとうございました。今後の会議でも教育に関する意見交換を続けていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。では、次回日程を含めて、事務局にお返しします。

(教育総務課長) では、次回の総合教育会議の日程ですが、平成28年2月19日(金)13時30分からとなります。次回もよろしくお願いいたします。

それでは、これもちまして、平成27年度第2回二宮町総合教育会議を閉会いたします。ありがとうございました。

15時15分 閉会